

■ ストラテジ 問題 (Ox)

☐ No. 011 R05-11-ウ

IoT や AI などの IT を活用し、戦略的にビジネスモデルの刷新や新たな付加価値を生み出していくことを示す言葉は、デジタルトランスフォーメーションである。

☐ No. 012 R04-17-ア

「BYOD」の事例として、会社から貸与されたスマートフォンを業務中に私的に使用することがある。

☐ No. 013 オリジナル

デジタルツイン (Digital Twin) とは、物理空間に実在する工場や製品などの稼働データを各種センサーでリアルタイムに収集し、サイバー (仮想) 空間上に全く同じ「双子」のようなモデルを再現して、シミュレーションや未来予測に役立てる技術である。

☐ No. 014 R02-34-ウ

営業利益を求める計算式は、 $(\text{経常利益}) + (\text{特別利益}) - (\text{特別損失})$ である。

☐ No. 015 R02-30-ア

ROE の “E” が表すものは、Earnings (所得) である。

■ ストラテジ 解答・解説

No. 011 R05-11-ウ 解答 ○

正しい。デジタルトランスフォーメーション（DX）は、IT を活用してビジネスモデルを変革し新たな価値を生み出すこと。

No. 012 R04-17-ア 解答 ✕

BYOD（Bring Your Own Device）は、従業員が私物の情報端末を業務に利用することをいう。そのため、会社貸与端末の私的使用は BYOD ではないため不適切である。

【ポイント】

BYOD に補足して押さえておくべき知識

- ・ MDM（Mobile Device Management）：企業が社員のスマートフォンなどの端末を一元的に管理・制御するシステム
- ・ リモートロック／リモートワイプ：BYOD 端末を紛失した際、遠隔操作で画面をロック（リモートロック）したり、端末内のデータを消去（リモートワイプ）したりして情報漏えいを防ぐ機能

No. 013 オリジナル 解答 ○

正しい。デジタルツインは、現実世界のデータを IoT を通じてデジタル空間に送り、高精度な複製（双子）を作る技術。これにより、製品の不具合予測や工場の最適化などを仮想空間上でシミュレーションすることができる。DX 推進やスマート製造業を語る上で欠かせない超頻出ワードである。

No. 014 R02-34-ウ 解答 ✕

これは特別損益を加減する式で、税引前当期純利益に関わるもの。

【ポイント】

試験でよく問われる利益の導出式

- ① 売上総利益（粗利）＝売上高－売上原価
- ② 営業利益（本業の儲け）＝売上総利益－販売費及び一般管理費（販管費）
- ③ 経常利益（会社の普通の儲け）＝営業利益＋営業外収益－営業外費用
- ④ 税引前当期純利益＝経常利益＋特別利益－特別損失
- ⑤ 当期純利益（最終的な儲け）＝税引前当期純利益－法人税など

No. 015 R02-30-ア 解答 ✕

ROE の“E”は Equity（自己資本）を表す（ROE＝Return On Equity）。Earnings（所得・収益）ではない。

【ポイント】

- ① ROE（Return On Equity：自己資本利益率）
意味：株主から集めた資金（自己資本）を使って、どれだけ効率よく利益を上げたかを示す指標。
計算式：当期純利益÷自己資本×100（％）
- ② ROA（Return On Assets：総資産利益率）
意味：会社が所有する全ての資産（総資産）を使って、どれだけ効率よく利益を上げたかを示す指標。
計算式：当期純利益÷総資産×100（％）